

User Interview

(株)角藤土木・基礎工事部長 勝野 宜由氏

今回は硬質地盤における場所打杭工、土留・仮締切工、法面工等において長野を基点に広く全国展開を図られている(株)角藤の土木・基礎工事部長・勝野氏を訪ねてインタビューを行いました。

記者: 貴社の岩盤削孔技術の概要をお聞かせください。

勝野: 土木工事の多様化と性能評価に伴う土木・基礎工事のご要望に、弊社は地形・地質・気象条件の異なる多様な現場状況に適合する低コスト・短工期・安全性・環境保全を実現する多彩な工法でお応えしています。

自社開発のALEX工法を中心に、オールケーシング工法、ダウンザホールハンマー工法、硬質地盤対応型鋼矢板圧入工法、硬質地盤対応型鋼管矢板圧入工法、鋼管杭自走式回転圧入工法等を手掛けています。

また、全国でも有数の地すべり地帯を持つ長野県の特徴を活かし、傾斜地に抑止杭、山留杭を施工する専用のダウンザホール機を用いその施工に当たっています。

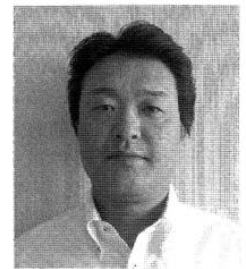
記者: 貴社の独自工法についてお聞かせください。

勝野: 硬質地盤を対象に大型掘削機を用いて各工法の施工実績を重ねてきました。

様々な地域・地形・地盤で得た経験とお客様のニーズにより、それらの大型機械では対応できなかった狭陰地、山間地用に小型の硬質地盤対応アースオーガー「ALEX工法」を開発し普及に取り組んでいます。同工法は小型(6.84×3.05m)低空頭(最短7.95m)高トルク(16t/m)の掘削機で中硬岩までの削孔が可能であり、更に「圧密板付特殊スクリュー」の装着により掘削土を減少させ、その圧密効果により孔壁の自立性を高め

る機能を兼ね備えています。掘削工法及び圧密板付オーガースクリューは特許を取得済みです。

04年10月に発生した新潟県中越地震の復旧工事においてはその特性を十分に発揮し、災害地の非常に厳しい作業環境の中で地すべり抑止杭、山留杭等の施工をこなしてきました。また各官庁工事においても好評を頂いています。NETIS、大口岩盤掘削工法の積算書等にてご覧いただければ幸いです。



勝野 宜由氏

記者: 貴社の施工管理体制についてお聞かせください。
勝野: 当社では営業・設計・工事が三位一体となり、工法の提案・計画・施工を行っています。着手に当たっては関係者が一同に介して現場状況の確認や施工上の問題点、その予防処置の検討、自社の品質目標の設定等々を話し合う着前検討会を工事現場ごとに行っています。工事完了後は自分たちの目標に対する達成度の検証は勿論のこと、お客様より「工事評価表」をご記入いただき、その要望を次期工事に展開出来るように検討会を実施しています。

記者: 今後の展望をお聞かせください。

勝野: 昨年度より新たに首都圏地域を中心に「鋼管杭自走式回転圧入工法」を手掛けています。AREX工法を中心とした施工技術の向上は勿論のこと時代のニーズにお応えできる新しい工法に積極的に取り組み、提案と確実な施工により社会に貢献していけるよう社員一同が一丸となり努力して行こうと考えています。

記者: 貴社のますますのご活躍をお祈りいたします。本日はお忙しいところありがとうございます。

(株)角藤堀昭広

官公庁関係情報

～平成22年度 国土交通省関係予算の概要～

()内の比率は前年度比を示す。

(皆増)は今年度の予算が0で、来年度の予算が増額の場合を示す。

■ I. 安全・安心

1 災害等から国民の命を守る取組

<災害による命への危険を予防する>

◆ゲリラ豪雨等による水害・土砂災害への緊急的対応の強化
[418億円(1.04)]

◆公共交通インフラや住宅・建築物の地震対策
[84億円(0.77)]

<発災時の実態把握や緊急対応のための初動対応力を高める>

◆大規模災害時の危機管理体制の強化
[122億円(1.36)]

<海上における人命・財産の保護と治安の維持を図る>

◆海上保安体制の充実・強化
[378億円(1.06)]

2 日常生活における安全・安心対策の強化

<誰もが安心して住宅を借り、建て、住み続けられるようにする>

◆高齢者・子育て世帯等に対応した住宅セーフティネットの充実
[399億円(1.40)]

◆民間住宅の賃貸や建設・リフォームをめぐるトラブルの予防・対策の強化

[8億円(1.67)]

<今ある社会基盤を大事に長く使い続ける>

◆社会資本ストックの戦略的維持管理による安全・安心の確保と長寿命化・ライフサイクルコストの縮減

[2,189億円(1.18)]

<運輸安全の向上を図る>

◆運輸分野の安全対策の強化
[69億円(1.19)]

■ II. 暮らし・環境

3 生活者の豊かな暮らしの実現

<既存住宅をきちんと手入れして、長く大切に使う>

◆既存住宅の流通円滑化とリフォーム市場の整備
[74億円(皆増)]

<徒歩や自転車で暮らせるコンパクトなまちをつくる>

◆歩行者や自転車に配慮した道路空間に再構築
[358億円(0.92)]

<誰にとっても安心して快適な公共交通機関をつくる>

◆公共交通機関のバリアフリー化の推進
[54億円(0.86)]

4 地球環境対策・低炭素社会の実現

<CO₂排出が少なく環境に優しい取組を行う>

◆住宅・建築物の省CO₂対策・長寿命化
[270億円(皆増)]

◆エコカーの需要拡大と運輸分野の環境負荷の軽減
[120億円(0.93)]